

2024年合格目標

TAC 行政書士講座 無料公開セミナー

効率重視で短期合格！

「短期集中カリキュラム の組み方」

《セミナーの内容》

1. 短期合格に必要なこと
2. 効率的カリキュラムの作成

1. 短期合格に必要なこと

- 第1 必要最小限の学習時間を確保
- 第2 必要最小限の学習範囲の確定
- 第3 過去問演習中心の学習

(1) 必要最小限の学習時間を確保する

まずは、必要最小限度の学習時間を確保することが必要です。

1週間で20時間～30時間を確保（講義時間・スキマ時間も含む）。

(2) 必要最小限の学習範囲を確定させる

どの科目をやるのか。どのぐらいやるのか。



合格するために必要なところをやる（6割で合格・得点効率がよいところ）



学習が進んできたら、180点を作るために、足りないところ（「伸びしろ」があるところ）をやる。

(3) 問題演習中心の学習

合格可能性は、問題演習時間に比例して上がっていきます。限りある学習時間について、インプットに割く時間は極力減らし、アウトプットの時間を使います。インプット1～2に対して、アウトプット8～9の割合です。問題を解きながら、間違えたところだけをテキストに戻って復習することで、分かっていないところだけを効率的にテキストで確認することができますし、より多くの時間を問題演習に割くことができます。

2. 効率的カリキュラムの作成

(1) 得点戦略

① 行政書士に必要な法令等（出題数 46 題－244 点/300 点）

}	基礎法学	－（ 2 問 8 点）	配点小・分量多・難易度高
	憲法	－（ 6 問 28 点）	配点中・分量少・難易度低有
	行政法	－（ 22 問 112 点）	配点大・分量多・難易度低
	民法	－（ 11 問 76 点）	配点大・分量多・難易度中
	商法	－（ 5 問 20 点）	配点小・分量多・難易度低有

② 基礎知識（出題数 14 題－56 点/300 点）

⇒ 40%（24 点）以上の得点必要。

}	一般知識	－（ 3～4 問程度？）	配点小・分量多・難易度中
	行政書士法等行政書士業務と密接に関連する諸法令	－（ 3～4 問程度？）	配点小・分量小・難易度低？
	情報通信・個人情報保護	－（ 3～4 問程度？）	配点小・分量小・難易度中
	文章理解	－（ 3 問 12 点）	配点小・分量多・難易度激低

(2) 学習の中心に据えるべき科目の選択

- | | |
|-----------------------------|-------------------------------|
| } | ① 配点が高い科目を得点源にする必要があります。 |
| | → 行政法、民法 |
| | ② 学習分量が少なければ、短時間の学習で得点に直結します。 |
| → 憲法統治、諸法令・情報通信・個人情報保護 | |
| ③ 難易度が低ければ、短時間の学習で得点に直結します。 | |
| → 行政法、憲法統治、商法、諸法令、文章理解 | |

これらの科目を、学習の中心に据えることが、効率的に短期合格するための秘訣です。

(3) 戦略的タイムマネジメント

① まずは残り時間を算出してください。

- ・ 1週間で勉強に割くことができる時間は、週_____時間。
- ・ 残り_____週 × 週_____時間 = 本試験までに残された時間

4月14日(日)～	残り31週
5月5日(日)～	残り28週
6月2日(日)～	残り23週
7月7日(日)～	残り18週
8月4日(日)～	残り14週
9月1日(日)～	残り10週
10月6日(日)～	残り5週
11月10日(日)	行政書士本試験

② 多く出題される部分に多くの時間を割くのが効率的です。

【法令科目】(81.3% 244/300) 残り時間×約 0.82=法令の残り時間

- ① 基礎法 (2.6% 8点) 残り時間×2.6%=基礎法学の残り時間
- ② 憲法 (9.3% 28点) 残り時間×9.3%= 憲法の残り時間
- ③ 行政法 (37.3% 112点) 残り時間×37.3%= 行政法の残り時間
- ④ 民法 (25.3% 76点) 残り時間×25.3%= 民法の残り時間
- ⑤ 商法 (6.6% 20点) 残り時間×6.6%= 商法の残り時間

【基礎知識】(18.6% 56点) 残り時間×約 0.18=基礎知識の残り時間

- ① 一般知識
 - ② 諸法令
 - ② 情報等
 - ③ 文章理解
- } 令和6年度の出題内訳は不明

(4) 短期集中カリキュラムの組み方≫ TAC生

効率的に学習を進めるには、行政書士試験で出題されるところを徹底的に学習することです。行政書士試験で出題されるごく基本的な条文と判例を徹底的に学習します。

基本的な条文と判例は、TACの教材です。TACの教材は出題される可能性が高い部分を絞り込み編集してあります。これらの教材で得た知識をベースに、時間のあ
る限り問題演習を繰り返していくことになります。

(1週間のカリキュラムモデル)

曜日 時間	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
朝	一問一答 30分	一問一答 30分	一問一答 30分	一問一答 30分	一問一答 30分	一問一答 30分	
午前	仕事	仕事	仕事	仕事	仕事	金の範囲 過去問 ミニテスト 180分	予備日 1週間で やり残し たことな どを復習 する。
昼	一問一答 30分	一問一答 30分	一問一答 30分	一問一答 30分	一問一答 30分		
午後	仕事	仕事	仕事	仕事	仕事	一週間分 の過去問 ミニテスト	
夕方	先週の 過去問 ミニテスト 150分	TAC 生講義 ミニテスト 150分	火実施 ミニテスト 火の範囲 過去問 150分	月～水で やり残し たこと。 条文 問題演習 など	TAC 生講義 ミニテスト 150分	300分	テキスト 条文読み 問題演習 など。
夜							
深夜	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	
時間計	3.5h	3.5h	3.5h	3.5h	3.5h	8.0h	

1週間—20～30hが目標

【重要】社会人の学習カリキュラム作成の際の鉄則

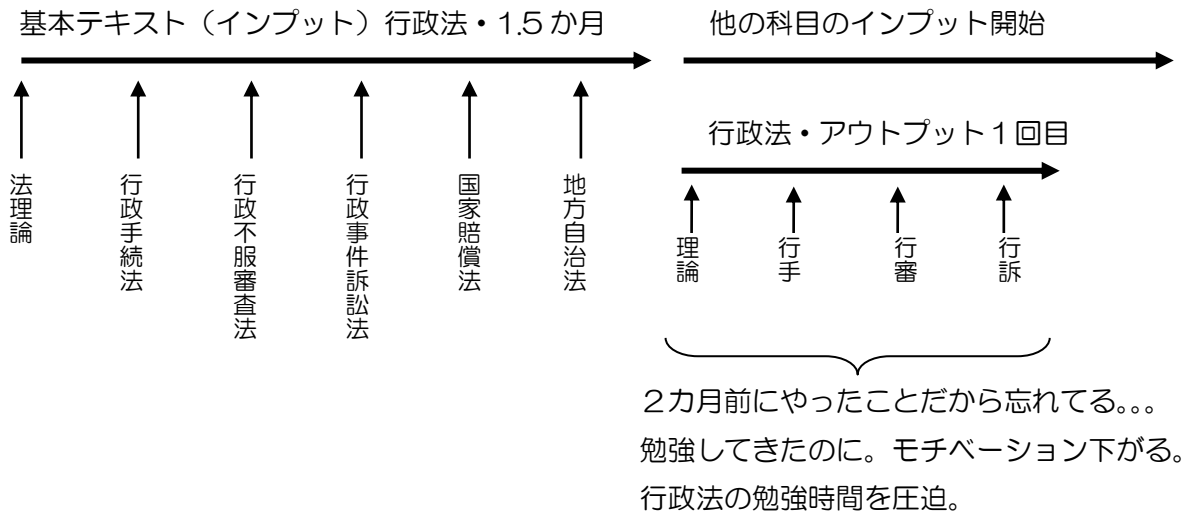
「1日・1週間・1か月でやること」から計画を立てていくのではなく、「1日にとれる学習時間」をまず考えてから、「その時間でできること」を考える。

(5) 学習の進め方

⇒ 学習手順その1・インプット、アウトプットを同時並行で繰り返す。

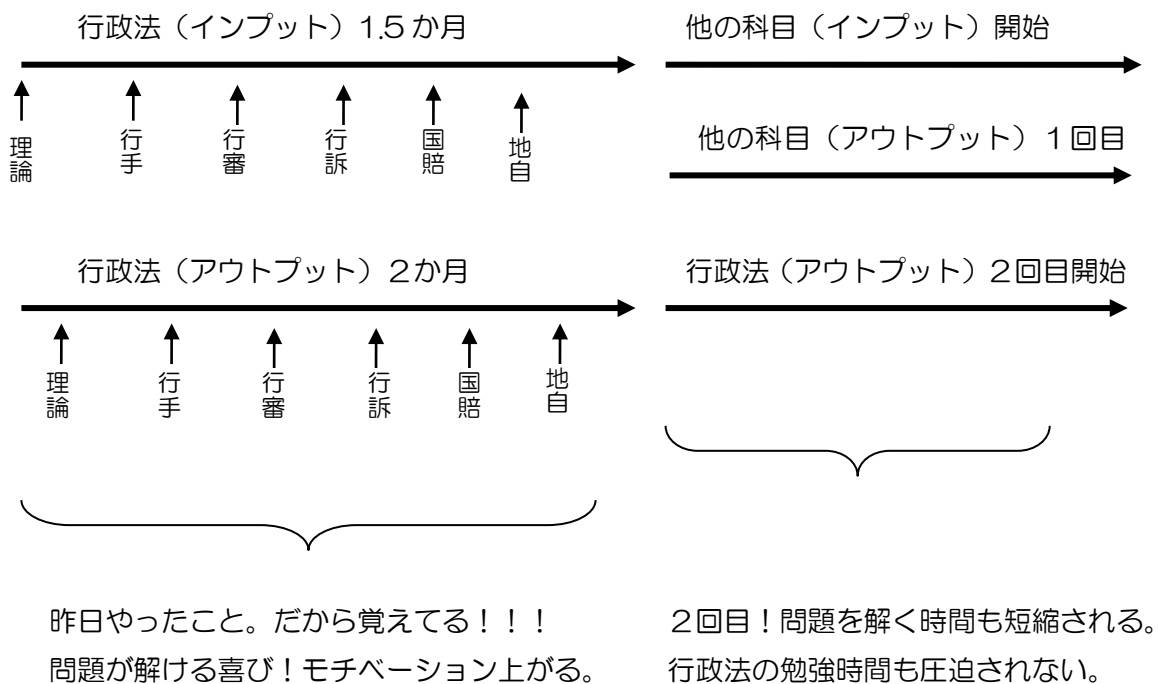
《効率的でないパターン》

インプットを全部やってからアウトプット



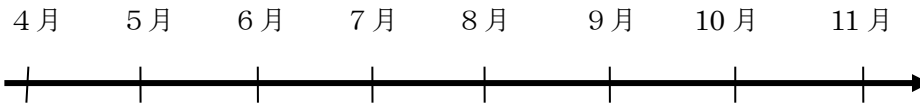
《効率的なパターン》

インプット・アウトプットを同時並行で行う。



(6) 学習の流れ

上記の時間を無駄なく使っていくために、残り時間をどのように進めていくかを見ていきましょう。



本
試
験

受講している本科生のカリキュラムに従って学習をすすめます。
学習の比重のモデルイメージは下記の通り。

例) 教室講座を受講の場合

- 4月** ⇒ 行政法・生講義 (100%)
- 5月** ⇒ 行政法・生講義 (100%)
- 6月前半** ⇒ 行政法・生講義 (100%)
- 6月後半** ⇒ 民法 Web (70%) + 行政法 (20%) + 基礎知識・生講義 (10%)
- 7月前半** ⇒ 民法 Web (70%) + 行政法 (20%) + 基礎知識・生講義 (10%)
- 7月後半** ⇒ 民法 Web (70%) + 行政法 (20%) + 商法・生講義 (10%)
- 8月** ⇒ 民法 Web (50%) + 行政法 (30%) + 商法・生講義 (10%)
+ 憲法 Web (10%)
- 9月前半** ⇒ 行政法 (40%) + 民法 (30%) + 商法 (10%)
+ 憲法 Web (20%)
- 10月** ⇒ 模試・答練 (70%) + 弱点補強 (オプション講義等)
- 11月** ⇒ 直前対策・模試答練 総復習 全科目

カリキュラムに沿って、講義を受けている科目をメインに据えます。また、本試験までの全期間を通じて、民法・行政法の学習は継続します。ただし、それらの科目に時間を割きすぎて、講義科目の時間を圧迫しないように、時間で区切って、学習を行うようにしましょう。

講義と講義の間にやるべき内容は以下の通りです。

講義 → → 過去問集 → ミニテスト → 講義

を繰り返します。科目が終われば科目別答練で総仕上げを行います。

講義以外はアウトプットを中心に行いますが、間違った問題・肢はテキストでそのつど丁寧に確認していくようにします。

(7) 星獲り表を作成 → どこで得点を作るか？

得点表						
択一・法令 120点獲得を目指す						
	問数	目標(素点)	あなた	所要時間	合計	あなた
基礎法学	2問(8点)	1問(4点)		1問2分	4分	
憲法	5問(20点)	2問(8点)		1問3分	15分	
民法	9問(36点)	5問(20点)		1問4分	36分	
総則	2問(8点)	1問(4点)				
物権	3問(12点)	2問(8点)				
債権	3問(12点)	2問(8点)				
親族相続	1問(4点)	1問(4点)				
行政法	19問(76点)	15問(60点)		1問2分	40分	
法理論	5問(20点)	3問(12点)				
行手法	3問(12点)	3問(12点)				
行審法	3問(12点)	3問(12点)				
行訴法	3問(12点)	3問(12点)				
国賠法	2問(8点)	2問(8点)				
地自法	3問(12点)	1問(4点)				
商法	5問(20点)	2問(8点)		1問2分	10分	
	40問(160点)	25問(100点)			105分	
択一・一般 40点獲得を目指す						
	問数(予想)	目標(素点)	あなた	所要時間	合計	あなた
政治	1問(4点)	} 1問(4点)		1問2分	2分	
経済	1問(4点)			1問2分	2分	
社会	2問(8点)			1問2分	4分	
諸法令	3問(12点)	3問(12点)		1問2分	6分	
情報関連	4問(16点)	3問(12点)		1問2分	8分	
文章	3問(12点)	3問(8点)		1問6分	18分	
	14問(56点)	6問(24点)			40分	
多肢選択 20点獲得を目指す						
	問数	目標(素点)	あなた	所要時間	合計	あなた
	12問(24点)	8問(16点)		1問3分	10分	
記述式 40点獲得を目指す						
	得点目安		あなた	所要時間	合計	あなた
	択一+多肢140なら40点			1問8分	25分	